

EMS ニュースの第 3 号をお届けします。

救急サービスの持っている資源と能力を利用して (生かして)、地域医療を改善するプログラム—コミュニティパラメディシン (CP=Community Paramedicine) を紹介します。救急サービス・医療サービス・社会福祉の提供者が連携し、人口増加などで医療サービスが十分に行き渡っていない問題などを解決するためのモデルです。各州で抱える医療に関する問題は様々ですので、その地域に合ったいろいろなプログラムがあるようです。ここで紹介するのはカリフォルニア州で行われた試験的な実施の一例です。



コミュニティパラメディシンに向う EMS カリフォルニア州の CP(Community Paramedicine) プログラム Piloting Community PARAMEDICINE



カリフォルニア州はしばしば国をリードし、種々の法制定を主導したのは周知の事実です。最近、カリフォルニア大学デービス校から 10-12 の地域で実施されたコミュニティパラメディシン (CP=Community Paramedicine) プログラムのレポートが発表された。これは他州における人口増加による医療ケアサービスの不足問題から得たアイデアの一例のようだ。

CP は救急医療と家庭医療 (Emergency Medical Service and Primary Care) を統合するプログラムである。

CP プログラムの検証レポートは「極めて期待される実践的モデルで、EMS の強みを生かしさらに EMS の安定運営の基を提供する可能性がある」としている。

CP は適切な EMS の利用を促し、医療提供者には新しい技術の所得を促した。パラメディック (救急救命士) の役割の拡充はその地域の医療ケアサービスを充実させた。国も他州もカリフォルニア州をモデルケースとして、特定の地域のニーズに合ったパラメディックの有効な運用と EMS 全体の更なる有効運用につながるよう考えている。

また CP はローコストあるいはノーコストで家庭医療を提供し、無保険者への医療実施問題を減少させた。CP は地域医療と病院医療の隙間を埋め、地域のパラメディックは地域医療を提供するパートナーとして必要とされている。CP は現場での搬送の必要性の判断をパラメディックに許可し頻回の利用者から搬送と救急センターの負担を減少させた。(現地で処置をして帰すこともある。)

レポートでは「CP は地域社会とのパートナーシップとパラメディックの技術と知識の向上がカリフォルニア CP の成否のキーとなるだろう。CP は単に医療サービスの提供だけではなく、保健衛生・社会福祉・メンタルヘルスともリンクさせて議論することが必要だろう。」と言っている。

CP (コミュニティパラメディシン) プログラム:
CP はアメリカにおけるパラメディックの役割の概念の転換である。救急サービスが持っている能力や資源を生かし地域医療の一翼を担うプログラムである。近年、コストを削減しながら地域医療の質の上昇と住民が医療を受け易くするモデルとして注目されている。

記事で紹介されたレポート「Community Paramedicine: A Promising Model for Integrating Emergency and Care」のコピーがありますので興味のある方はメールか FAX で請求ください。

JEMS October 2013 Vol.38 No.10-Piloting Community PARAMEDICINE より抄訳

WJ ドレッシング

6 サイズ



製品紹介

ウォータージェルキット

救急車搭載



5x15cm
10x10cm
10x40cm
20x45cm
ハンド
フェイスマスク

熱傷応急冷却材
熱傷部の温度を 4 分以内で
体温まで下げます
熱傷の進行を止めて
被害を最小にします



WJ ブランケット 76x91 1 個
WJ ドレッシング 10x40 2 個
WJ ドレッシング 20x45 1 個
WJ ドレッシングハンド 1 個
WJ ドレッシングフェイス 1 個
WJ 包帯 4 個

2014 年 アコード出展予定 学会・展示会

- 1/30-31 救急資器材展 in 九州 福岡県北九州市
- 3/11-12 ITLS ASIA カンファレンス 兵庫県神戸市
- 5/31-6/1 日本臨床救急医学会 栃木県下野市
- 6/5-6 日本熱傷学会 埼玉県さいたま市

あとがき

日本とは環境と法規制に違いがあるので、参考となるかは不明ですが、アメリカの救急救命士の役割の変化をお伝えしました。地域医療の充実は、結果的には救急車の適正利用にも繋がったようです。

アコードインターナショナル株式会社
151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-9-4-1005
TEL:03-3299-6751 FAX:03-3299-6752
e-mail: Accord@accord-intl.com http://www.Accord-INTL.com